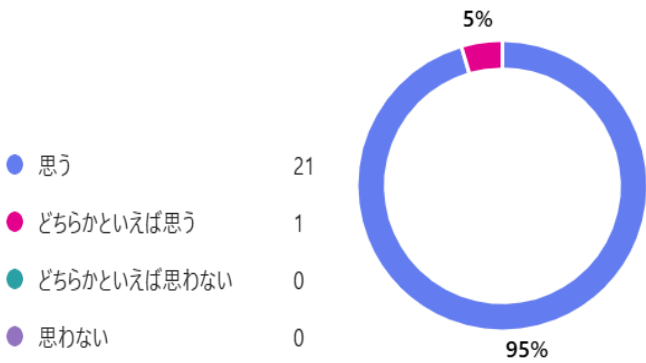
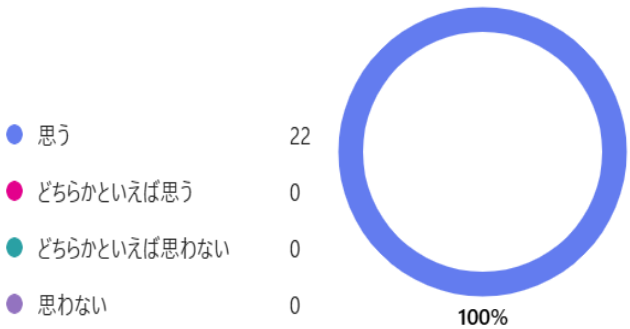


大阪市立南市岡小学校「『生きる』教育」公開授業・講演会参加者アンケート結果(2026 年9月9日)

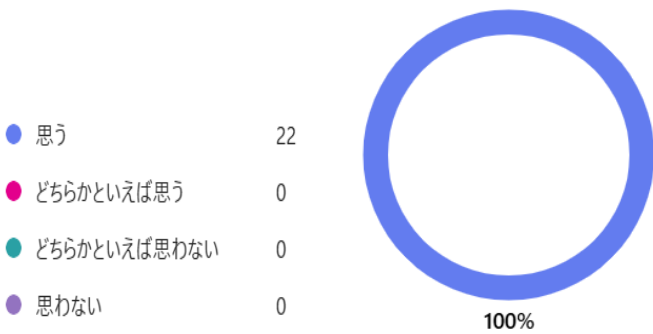
5. 本日の内容は、わかりやすいものでしたか。



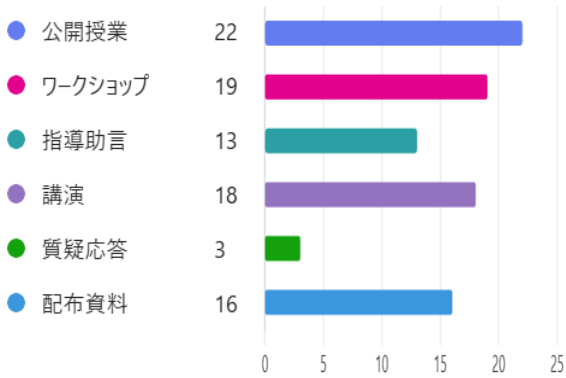
6. 本日、自分の知識を深めたり、新たな発見をしたりしましたか。



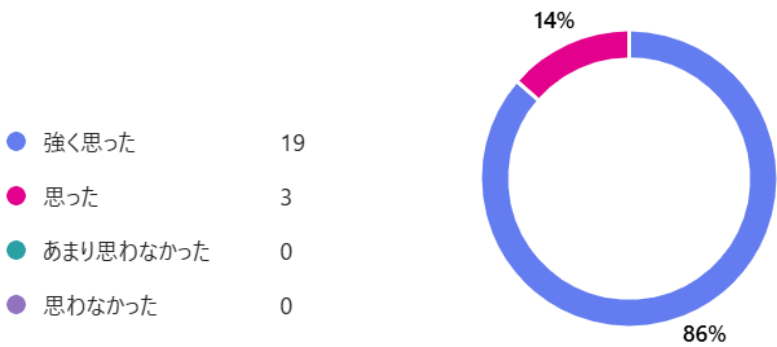
7. 本日、得た知識や気づきは、今後の実践に活かすことができそうですか。



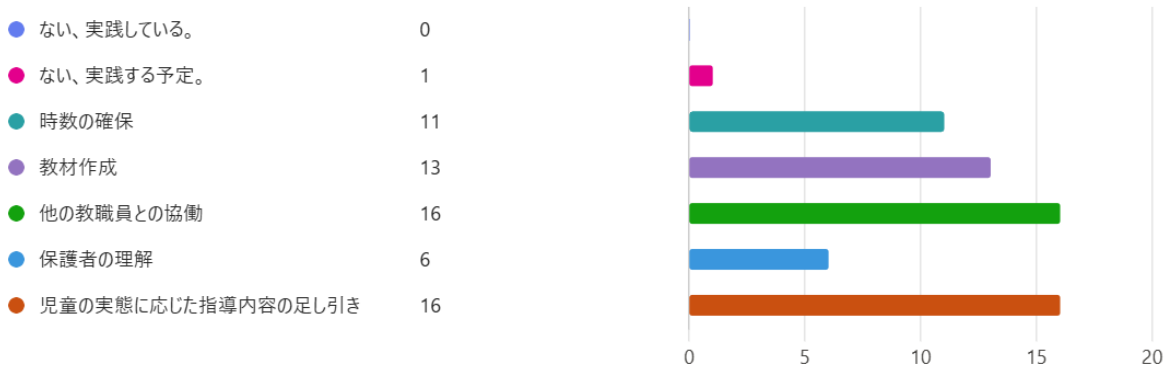
8. 本日、よかったと思われる内容を全てお選びください。



9. このような授業をやってみたい、または、広げてみたいと思いましたか。



10. ご自身が実践するにあたって難しいと感じる点がありますか。



12.本日の公開授業の感想をお書きください。	
1	五年生の授業と四年生の授業を参観させていただきました。 五年生の授業では、自分だったらどんなアドバイスを書くだろうと考えながら子ども達の発表を聴きました。どのキャラクターの班も一生懸命に考えていて感動しました。 四年生の授業は、面接が終わった後の子どもたちのニコニコした顔が印象的でした。ひみつカードを読んでいる時も嬉しそうで、温かい活動だなと思いました。今年四年生担任なので、やってみたいです。 たくさんの方の掲示物、準備と、大変だったことと思いますが、やりがいのある授業だなと思いました。ありがとうございました。
2	今日の発表までに、いろいろな取り組みや審議などお疲れ様でした。また、勤務校で実践していきます。ありがとうございました。
3	本日はありがとうございました。3年生の授業を見せていただきました。たくさん時間をかけて子どもの権利条約をしっかり理解できていることがわかる授業でした。
4	本日はお忙しい中このような貴重な機会をご用意いただきありがとうございました。学部2回生という立場で参加させていただいたのですが、講義や資料からは知ることの難しい内容ばかりで大変勉強になりました。具体的な内容を掴みきれなかった「生きる教育」に関して、実際の子どもの様子や現場の先生方のお声とともに理解を深められたと感じています。1年生の授業では安全、安心、清潔という幼い頃からどこか当たり前になっているような事柄を実際に言葉で表し、重要性を体感していくことの価値を感じました。また、6年生の授業は大人でも難しいと思うような少し高度な内容でしたが、人間関係においてダメなこと、大切にすべきことを個人差がありながらもまとめていたところが印象的でした。恋愛という触れにくい話題のように感じますが、活発に意見を交わし合っていたのも先生方の技量あつてのことだと思います。教育を学び、将来携わっていく身として、今後は今回の経験を活かしながら「生きる教育」にさらに注目していこうと思います。
5	3年生の子どもの権利条約、難しい内容だと思いますが、例題に沿ってファイルから何が守られていないのか真剣に調べていて、賢いなと思いました。 本校の場合、クラスの中に子どもの権利が守られていない子が複数いるので、その子への配慮、授業後の相談体制も整えていく必要があると思いました。
6	生きる教育について改めて学び直すきっかけになりました。特別支援学級に在籍する児童に対する生きる教育についても詳しく知りくなりました。
7	公開授業について、内容だけでなく、授業実施のためのレジュメ準備や現場での生徒の回答への対応など、感動する点が非常に多くありました。ワークショップでは新田先生が確り進行して下さい、学びが多かったです。ありがとうございました！！
8	公開授業を見せていただき、授業をどのように進めていけばよいかとても参考になりました。全学年に計画的に指導していくことの大切さがわかり、自校でもできることを取り入れていきたいと思いました。
9	公開授業並びに講演会等、本当にありがとうございました。これから実施していくヒントをたくさんいただくことができました。
11	すばらしい授業、貴重な資料をありがとうございました。6年生のワークシートを見せていただきましたが、楽しかったと書いてある児童の感想がとても印象的で、楽しいと思える授業をしたいなど改めて思いました。1つ質問なのですが、プライベートゾーンについてです。水着で隠れるところがプライベートゾーンなのは子どもたちに説明がつくのですが、口について1年生にどうしてプライベートゾーンなのかうまく説明できません。ご教示いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。 ⇒ちょうど同封した、南丹市立園部第二小学校 川崎 智美先生のスライド読み原稿に分かりやすい答えがありましたので引用させていただきます。⑩「一つ目はプライベートゾーンです。体は全部大切、体は全部その人だけのもの。その中でも自分だけの特別で大切な場所というのが幼児期から繰り返し教える基本ルールです。プライベートゾーンは、水着でかくれる場所＋口です。さらに具体的に言うと、胸・性器・お尻・口などの体の中と繋がる部分、生きることや命を育てること直接関わる部分です。約束事はとてもシンプルです。「自分のプライベートゾーンは、他人に見せない・触らせない」「人のプライベートゾーンは、見ない・触らない」どんなに仲が良い友だちでも、たとえ家族でも、自分以外の人が勝手に見たり触ったりするのはおかしいことなんだよと伝えます。…」 あと、昨年度いただいた、次のような質問「以前自校で一、二年生を対象にプライベートゾーンについて授業をしたのですが、その時の反省で「なんでその部分がプライベートゾーンなのかを教えた方がいい」という意見がありました。一、二年生で、なんでのところまで教えた方がいいのでしょうか。よろしくお願いいたします。」に⇒「まず、ゾーン、エリア、パーツの使い分けは必要だと思っています。小学校4年生の保健でももう少し具体的に学習するので、それ以降は、プライベートパーツという言葉も使っていきます。学習指導要領も踏まえつつ子どもたちの疑問にしっかり答えていく手だてを皆さんでご議論いただけたらと思います。」と答えました。

10	6-1の公開授業で、先生が児童の気持ちや思い等の意見の引き出し方がとても上手で、内容も児童が身近に感じやすい例でとてもよかったです。カップルのやり取りは小学生では難しい内容もあるなと思っていましたが、想像していなかった意見もあり小学生ならではのとらえ方だなと感じとても勉強になりました。授業と同じような内容を3学期の保健指導で高学年にしてみようと思います。ワークショップでは、系統立てて取り組むためにまず何から始めればいいのか等の話をグループ内で教えていただき、他校の話を聞けて参考になり、公開授業後に意見交換ができたのはとてもよかったです。ありがとうございました。
12	どの授業も、心があたたかくなる空間でした。安心して生きる教育を学べる環境ができていることが、素晴らしいと感じました。ありがとうございました。
13	昨日は貴重なお時間ありがとうございました。生きる教育について、自分自身があまり理解ができておらず、今回の公開授業・講演会に参加させていただきました。南市岡小学校での取り組みを知り、自校でも実践して行きたいと思いました。しかし、私自身が養護助教諭でいつまで勤務できるかわからないため、自校で生きる教育について共感してくださる先生方を増やして行き、土台を作っていければと思います。ありがとうございました。
14	グループワーク中の会話から「どんどん言っていよ〜」「〇〇で大丈夫？」「私はいいよ」等の対話が広がっており、南市岡小学校の実践の積み重ねが、子どもたちが安心して発言したり、発言を受け止めたりすることに繋がっているんだと感じました。素晴らしい取り組みを共有していただき、ありがとうございました。
15	今日の授業を見て、やはり幼稚園からの知識や考え方の土台を築いていることが大切であると感じました。それぞれのクラスや実態、年齢に応じた指導や使用する教材などの工夫が重要であると感じました。これからの実践や就学後へのつながりに生かしていきます。
16	5年生の発達凸凹について、特性を持った宇宙人達が、子供にわかりやすい興味の持てるキャラクターで、子供達はよく考えていたと思います。そして、何とか助けてやりたいとか、みんながうまく行くように、という気持ちが溢れていて、先生と子供達の関係もクラスの雰囲気も素敵でした。本校の児童は、友達について見えない部分を感じ取る力に課題があるので、発達凸凹について明確に教える機会が必要だと改めて思いました。こういう授業は、効果的ではないかと感じました。
17	これまで取り組んで来られた事と実感しました。とても勉強になりました。これから、出来ることから取り組んで行きたいと思います。ありがとうございました。
18	南市岡小学校の先生方が、「生きる」教育について考え目の前の子どもたちの様子に合わせて指導案を作り授業をしていることを実感することができた。他の業務がある中、学校全体で丸となり「生きる」教育に取り組むというのは簡単ではないことだと思う。 5時間目は2年生の授業を見させていただいた。導入が日常的でわかりやすく、安心できる距離を考える必要性を感じられると思った。全員の安心できる距離を計測することで、全員が授業に参加している雰囲気があった。また、相手との関係性により安心できる距離が違うことを学ぶワークにおいて、病院の先生を例に出しているのが非常にユニークだと思った。赤ちゃんとお母さんとの距離がほぼ0であることを思い起こさせて授業を締めくくっているのが今回の授業につながっていて良い展開だと思った。 6時間目は6年生の授業を見させていただいた。興味の持ちやすい例を使ってよくない好きに気づかせた上で、子どもたちのアンケート回答を活かして良い好きもよくない好きもある、それは人や状況によっても違うということを教えるという授業展開が綺麗だと思った。それぞれの事例に対して子どもたちが真剣に考え、先生が少し考えを覆すような質問をしても、自分の意見を隠せず話していた。聞いている子どもたちにとっても学びになる対話であった。やはり「生きる」教育を何年も受けてきたことで自分の意見を恥ずかしがらずに表明する力がついているのだと実感した。 何だか上から目線で書いてしまいましたが、素晴らしい授業を見させていただいて大きな学びを得ることができました。南市岡小学校の先生方や同様に公開授業に参加していた先生方が本当に真剣に「生きる」教育に向き合っているのを肌で体感し、「生きる」教育自体も今の学校の実態ももっと知っていかなければならないと思いました。貴重な機会となりました。本当にありがとうございました。
19	授業の進め方、先生の問いかけやまとめ、子どもたちが意見を交わす様子を生で見ていることができて、とても刺激をもらいました。どのクラスも子どもたちが安心してお互いの意見を伝えあっている雰囲気が印象的で、南市岡小学校のみなさんが築いてこられた「安心・安全」が土台になっているのだと感じました。また、公開された授業以外の指導案もとても興味深く、自校でもやってみたいと思う内容、要素がたくさんありました。 ワークショップにおいても、今後も情報交換や実践交流を重ねていきたいと感じる新たなご縁をいただきました。まだ始まったばかりの実践の報告にも関わらず、みなさんが積み上げてこられた研修会において取り上げていただいたこと、研修会に参加させていただきたくさんのご縁をいただいたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。 生きる教育の指導案集、西岡教授や田村先生の資料や昨年度の研究収録には、本校職員も大変感銘を受け、国語科の研究においても参考にさせていただく所存です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。多くの学びをありがとうございました。

本校『『生きる』教育』の公開授業・研修会にご参加いただきありがとうございました。また、アンケートにお答えいただきありがとうございました。